

[2019/2020]九州大学附属図書館年報

<https://hdl.handle.net/2324/4055219>

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2019/2020, pp.1-, 2020-07. Kyushu University Library
バージョン：
権利関係：

ISSN 2433-3239

KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2019/2020

九州大学附属図書館年報 2019/2020



CONTENTS もくじ

Topics	3
展示会・講演会	7
国際化	10
講習会/Cute.Guides	11
新規コレクション・デジタルコンテンツ・ 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)	12
研究開発室	13
人材育成	14
統計	15
附属図書館の組織	21
人事異動	23
出版物/貴重資料の学外展示・掲載・放映 ..	24
図書館日誌	25





附属図書館長
宮本 一夫

はじめに

新たな人類の脅威である世界的な感染症の広がり、私たちの生活を含めた様々な社会活動に弊害を生み出しています。附属図書館は人々が書物を求め集い語り合う大学の知の拠点であるにもかかわらず、人々が集うことが感染症対策にとって問題となっています。この場合、図書館の果たす役割を変えていかなければなりません。附属図書館が提供する電子ジャーナル・電子ブック、あるいは電子教材を利用して、これまで通りの研究や学習を進めることが可能なのです。そこで、附属図書館はこれまで以上にオープンサイエンスを推進していくとともに、様々な電子情報の提供サービスを目指しています。

その一つのサービスが、学習ガイド「Cute.Guides(きゅうとガイド)」です。平成25年3月から附属図書館Webサイト上で公開しています。その取り組みに対し高い評価を得、令和元年11月12日に、第5回図書館レファレンス大賞の最終審査において図書館振興財団賞を受賞しました。

オープンサイエンスの推進のために、令和元年10月から附属図書館のWebサイトで、オープンアクセス(OA)のページを公開しました。さらに、電子ジャーナルのOA出版モデルへの移行検討に向けて、APC(論文掲載料)の支払い実態調査を開始しています。また、研究データの基盤整備のため、4月に情報統括本部内に研究データ管理基盤検討タスクフォースが設置され、附属図書館も参加して研究データ管理支援体制等の検討を行っています。12月には、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校より3名の講師を招き、大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻と共同で、「大学における研究データサービス」と題したシンポジウム・ワークショップを開催しました。

電子教材の提供としては、付設教材開発センターの活動があげられます。部局との連携および学生協働によるICT活用電子副教材の開発と開発支援に取り組んでいます。JMOC講座では「豪雨災害とその対策—平成29年7月九州北部豪雨災害を例に—」を開講し、受講者数764名で、56.3%という記録的に高い修了率となりました。「代表的研究者紹介ビデオ」(先生の森【動画版】)は、第二期の撮影編集を開始しています。また、電子教材の著作権の取り扱いに関する講習会「電子教材著作権講習会」を全学FDとして開催しました。教育改革推進本部「教育方法・教材開発部門」に関わる取り組みとしては、映像教材等の活用状況調査を実施し、さまざまな講習会で報告を行っています。

記録資料館は4部門から構成されていますが、これまで収蔵資料全体を見渡すための概要や要覧がありませんでした。平成31年3月発行の『記録資料館ニューズレター』誌上で「主な収蔵資料の概要」を特集し、当館所蔵の歴史資料の全貌を知ることができるようになりました。

また、九州大学基金の用途特定寄附事業として「附属図書館中央図書館整備事業」を継続して実施し、寄附金によって図書資料や学習環境の整備・充実を図っています。

学習ガイド「Cute.Guides」の取組に対し高い評価

附属図書館では、学習ガイド「Cute.Guides(きゅーとガイド)」を、平成25年3月から附属図書館webサイト上で公開しています。令和元年度は、これまでの学習ガイド作成の取組が高く評価される一年となりました。

令和元年7月、各ガイドへのリンク記事を、国立国会図書館「レファレンス協同データベース」の「調べ方マニュアル」へ登録開始しました。これに伴い、令和元年の当館による年間データ登録点数が465点となり、「レファレンス協同データベース」の発展に寄与したとして、国立国会図書館長より感謝の礼状が授与されました。「調べ方マニュアル」へのデータの一括登録は、国立大学では初の事例となります。



国立国会図書館の礼状

11月12日には、第5回図書館レファレンス大賞の最終審査において、「Cute.Guides」による課題解決支援の取組が、図書館振興財団賞を受賞しました。

図書館レファレンス大賞は、全館種の図書館を対象に、利用者のニーズに応じて情報を提供する「レファレンスサービス」の優れた事例を表彰するもので、附属図書館は、レファレンスサービスの利用促進を図る取組事例として「Web学習ガイド『Cute.Guides』による課題解決支援」を応募しました。書類審査を経て、最終審査に進み、11月12日～14日にパシフィコ横浜で開催された「第21回図書館総合展」初日の最終審査にて、応募22件から選ばれた3件の候補によるプレゼンテーションの結果、文部科学大臣賞、図書館振興財団賞、審査員会賞のうち、図書館振興財団賞を受賞しました。

「Cute.Guides」は学習や研究に役立つ多様なガイドで、記事の作成に図書館TA(Cuter)の大学院生が中心的役割を果たしています。令和2年3月31日現在のガイドの公開点数は179点、このうち136件が図書館TA(Cuter)が作成したものです(p.11参照)。

Cute.Guides

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/>



公益財団法人図書館振興財団の植松貞夫理事による賞状授与



Cute.Guidesトップページ

『知をつむぐ ー九州大学の書物たちー』発行

九州大学を代表する貴重書および資料群についてより広く知っていただくことを目的として、令和元年11月、『知をつむぐ ー九州大学の書物たちー』を発行しました。

本書では、本学における代表的な貴重書・コレクションを分野別にご紹介するとともに、主要な文庫・コレクションといった資料群をご案内しています。紙面に限られるため、今回は残念ながら掲載できなかった資料も多くありますが、本学の図書資料を概観することができるような構成となっています。

冊子は各キャンパスの図書館にて配布するとともに、Web上でPDF版も公開していますのでぜひご覧ください。

本学の資料は、百年を超える歴史の中で、学術研究に関わる多くの先人たちの熱意、そして、九州・福岡という地域との結びつきにより蓄積されてきました。その存在を多くの方々に知っていただくことで、本書が、過去の知を未来へとつなげる役割の一端を担うことができれば幸いです。

『知をつむぐ ー九州大学の書物たちー』

<http://hdl.handle.net/2324/2344444>





『史淵』『文學研究』『哲學年報』電子化完了

九州帝国大学の法文学部時代から営々と発行されてきた人文科学研究院の紀要三誌のバックナンバーを全点デジタル化し、九州大学学術情報リポジトリ(QIR)で公開しました。

特に『史淵』は、昭和4(1929)年に九州史学会の学会誌として創刊されて以降90年におよぶ長い歴史をもち、主に歴史学、地理学、考古学研究に関わる数多くの学内成果論文が掲載されています。現在は九州大学大学院人文科学研究院の紀要として年1回刊行されています。今回公開したコンテンツは、昭和4(1929)年の創刊号から平成11(1999)年の第136号までの71年分です。

公開とともにTwitter等SNSでも多くの反響があり、広く関心を集めるコンテンツ群となりました。

公開作業にあたっては、人文科学研究院及び本学「ワークスタディプログラム」の支援を受けました。

電子版公開ページ

『史淵』1-157号(1929-2020)(掲載論文数 全874点)

<http://hdl.handle.net/2324/10>

『文學研究』1-117号(1932-2020)(掲載論文数 全821点)

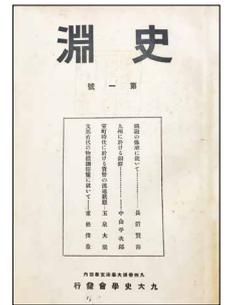
<http://hdl.handle.net/2324/12>

『哲學年報』1-79号(1940-2020)(掲載論文数 全650点)

<http://hdl.handle.net/2324/11>

* 3誌とも継続刊行中

* 掲載論文数は令和2年3月31日現在



『史淵』第一号表紙

オープンサイエンスの推進

世界的なオープンサイエンスの潮流の中、関連部署等との連携の下、多方面から取り組みを進めました。

●オープンアクセスの推進

オープンアクセス(以下「OA」)に係る世界中の急速な動きを背景に、OAに関する適切な情報提供とさらなる推進を図るため、令和元年10月、九州大学附属図書館のWebサイトで、オープンアクセス(OA)のページを公開しました。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/services/open/top>

本学のOA方針、九州大学学術情報リポジトリ(QIR)の概要や詳しい登録方法、本学のジャーナル契約に関する最新情報、APC(Article Processing Charge)の割引やハゲタカジャーナルに関する情報等、研究者向けのOA情報を発信しています。

また、アドボカシー活動の一環として、国際オープンアクセスウィーク(10月)に合わせ、三種のポスター(学術雑誌論文編/博士論文編/QIR活用編)を作成し図書館内外に掲示したほか、部局FD(比較社会文化研究院・システム情報科学研究院・農学研究院)において、ジャーナル問題を含むOA説明会を開催しました。

さらに、電子ジャーナルのOA出版モデルへの移行検討に向け、4月下旬よりAPC(Article Processing Charge:論文をOAで出版するための論文処理料)の支払実態調査を開始しました。次年度以降も調査を継続すると同時に、調査結果の詳しい分析を行う予定です。

●研究データに関する取り組み

平成31年4月、情報統括本部内に研究データ管理基盤検討タスクフォースが設置され、情報システム部、図書館、URA、IR担当部署等との連携の下、研究データの管理基盤GakuNinRDMの実証実験や公開基盤の要件整理、研究データ管理支援体制等の検討を行いました。本タスクフォースは、令和2年度も引き続き設置され、研究データの基盤整備に向けた活動を行います。

また、平成30年度に九州大学学術情報リポジトリ専門委員会の下の

「オープンデータ推進ワーキンググループ」において作成したデータポリシー素案については、上記タスクフォースでの検討を受けてさらにブラッシュアップしていく予定ですが、データポリシー作成は国内の大学では前例がなく、本学での作成過程で生じた課題を整理し「Japan Open Science Summit2019」(国立情報学研究所主催)等のイベントで発表することで、他大学でのポリシー検討の足掛かりとなりました。

その他、12月には、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校より講師を招き、九州大学附属図書館・大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻共同開催企画として、「大学における研究データサービス」と題したシンポジウム・ワークショップを開催しました(p.9参照)。

●メタデータのオープン化

九州大学附属図書館の有する学術情報のより広範な流通を図るため、所蔵コンテンツのメタデータについても、APIの提供及びデータセットの公開を開始しました。令和2年3月、貴重資料や炭鉱画像のデジタルアーカイブを手始めに公開し、今後 QIR についても順次オープン化を進める予定です。CC0ライセンス*により公開することで、メタデータが様々なサービスや活動に自由に活用できるようになるとともに、所蔵コンテンツのさらなる利活用が期待されます。詳細は下記ページをご参照ください。

メタデータの提供

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/metadata>

*CC0ライセンス:CCライセンスは、著作物の自由利用促進を目的とする国際プロジェクトCreative Commons が策定したライセンス。CC0は、著作権者が権利を放棄することによって自由利用を認める際に用いられる。

中央図書館グランドオープン一周年

平成30年10月1日に中央図書館がグランドオープンしました。伊都キャンパスでの中央図書館と理系図書館の2館体制が始まり、4月には新入学生を迎えました。

中央図書館の利用状況について、入館者数で紹介します。令和元年度は平日の平均入館者は1,639人。土・日・祝日の平均入館者数は597人でした。最多入館者数になったのは、8月のオープンキャンパスでの5,508人でした。ちなみに平日の最多入館者数は7月の試験期間中で3,840人でした。このような多くの利用があり、おかげさまで11月27日に累計入館者数が50万人を突破しました。

これからも、多くの皆様に利用していただける図書館を目指していきます。



附属図書館中央図書館整備事業 寄附金の活用

平成30年3月に開始した九州大学基金用途特定寄附 九州大学附属図書館中央図書館整備事業は、おかげさまで多くの方々からご支援を賜っております。令和元年度は以下の整備をすすめることができました。

【学習研究を支える図書資料の整備・充実】

・ 英語多読図書の購入

【安全・安心で快適な学習研究環境の整備】

・ エントランス等への掲示板設置
・ きゅうと commons ファミレス席のコンセント改修

いただいたご支援により、今後さらに学習研究環境の整備を進めていく予定です。本整備事業は、令和3年3月まで継続します。引き続き、温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

九州大学附属図書館中央図書館整備事業

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/kikin/overview>



きゅうと commons に並ぶ英語多読図書

インターンシップの受入

令和元年度は統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻からインターンシップの大学院生2名を受け入れました。各自研究テーマに沿った調査課題・企画課題に取り組みながら、eリソース課で資料の電子化に関する業務に従事しました。資料の撮影、メタデータの作成・登録を経て、以下のような貴重資料の画像を九大コレクションで公開しました。電子リソースの利用環境整備について学生に理解を深めてもらう機会となったと同時に、電子化の手順を整理し促進するきっかけとなりました。

インターンシップ生による電子化資料(一部)

国際文庫[宣化の葡萄]

<http://hdl.handle.net/2324/2335178>

「皇朝清國名家畫帖」

<http://hdl.handle.net/2324/2344612>



ライブラリーサイエンス専攻インターンシップ
企画課題の発表の様子



九大インターンシップ
グループワークで発言する受講生(左)

また、本学の基幹教育科目「九大インターンシップ」履修の学部生2名を2週間にわたり受け入れました。各課での業務のほか、第8回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュバーソンセミナーにおいてグループワークの助言者として参加し、本学のみならず他大学の図書館職員と接する機会も持ちました。受講生からは、社会人と接する貴重な機会となった、図書館職員の仕事に対する熱意が伝わってきた等の感想があり、充実したインターンシップとなったようでした。



付設記録資料館の活動

付設記録資料館には、九州大学が集めてきた膨大な量の歴史資料が所蔵されています。平成30年度には伊都キャンパスへの移転も完了し、新たな体制で、所蔵資料の保存と整理、研究と教育への活用、社会への公開をすすめています。

4部門それぞれに異なる来歴を持つ組織を一体化して設置された記録資料館では、これまで収蔵資料の全体を見渡す概要や要覧等がありませんでした。そこで、平成31年3月に『記録資料館ニュースレター』の誌上で「主な収蔵資料の概要」を特集しました。

これにより、産業経済資料部門、九州文化史資料部門、法制資料部門、古文書・古記録部門に所蔵されている歴史資料の全貌を知ることができるようになりました。

現在、記録資料館の歴史資料を探そうとする場合、附属図書館の蔵書検索システム「九大コレクション」検索画面に、キーワードを入力すると、比較的簡単に必要な情報を手に入れることができます。このように、ピンポイントに必要な資料へアクセスすることは容易になりましたが、その一方で、探し当てた資料が、どのような属性を有しているのか、どこに伝来してきたものなのか、といった情報の取得については、必ずしも容易ではありませんでした。

歴史資料とは、過去のある時代に存在した組織や団体が、その活動の過程で作成・授受し、保存してきたものです。「主な収蔵資料の概要」では、〇〇家文書や、△△資料のように、歴史資料を生成・保管してきた組織や団体の情報を一覧できるようにしています。

付設記録資料館「主な収蔵資料の概要」

(九州大学附属図書館付設記録資料館ニュースレター Vol.13)

<http://hdl.handle.net/2324/2544993>



三奈木黒田家(福岡藩家老)文書の伝来状況

付設教材開発センターの活動

付設教材開発センターは、ICTを活用した質の高い電子教材を提供し、教育の質の向上を図ることを目的に様々な事業に取り組んでいます。

1. 部局との連携及び学生協働によるICT活用電子副教材の開発と開発支援

基幹教育院をはじめとした各部局との連携及び学生協働により、日本史学教材、中国文学教材、放射線治療トレーニング教材、歯科治療トレーニング教材など、3次元CGやウェブ技術を活用した双方向型電子教材の開発を過年度より継続して実施しています。令和元年度は、歯学読影演習教材や留学生向け日本語学習教材、決断科学大学院学生との協働による環境保全行動教育ゲーム(シリアスゲーム)の開発を新規に開始しました。

2. 映像教材等の撮影・編集・公開

本学の授業、講演会、講習会、各種イベント等を撮影・編集し、本学Webページをはじめ、YouTube、Podcast、OCWにより令和2年3月末現在約1,100件の動画等を学内外に広く公開しています。また、昨年度から始まった高校生対象の教育プロジェクト「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」の講義収録と公開を担当しました。

平成26年度から継続して制作・開講しているJMOOC講座は、平成30年度末から制作を開始した「豪雨災害とその対策—平成29年7月九州北部豪雨災害を例に—」を令和元年夏期に開講しました。受講者数は734名で、56.3%という記録的な修了率となりました。

平成28年度から取り組んでいる「代表的研究者紹介ビデオ」(先生の森【動画版】)について、第一期の撮影編集を終え、第二期の取り組みを開始しました。

3. 電子教材の著作権に関する取り組み

電子教材を制作する際の著作権の取り扱い等について解説する「電子教材著作権講習会」を全学FDとして開催(令和元年度:4回開催、22名参加)しました。平成30年5月25日に著作権法の一部を改正する法律(平成30年法律第30号)が公布され、補償金制度などについて関係各所で議論・検討が成されています。これに対応すべく大学学習資源コンソーシアム(CLR: Consortium for Learning Resources)に設けられた「著作権法改正対応ワーキンググループ」のメンバーとして本センターの教員が活動しています。

4. 教育改革推進本部「教育方法・教材開発部門」に係る取り組み

平成29年度に設置された「九州大学教育改革推進本部」の「教育方法・教材開発部門」に係る取組として、令和元年度は、映像教材等の活用状況調査を実施し、その結果等を、ICT活用教育の啓発を目的に開催した「電子教材開発者向け講習会」(令和元年12月26日開催)にて報告しました。また、「ラーニングアナリティクス部門」が開催した「M2B講習会」にて教材開発センターの活動報告をしました。さらに、学内のICT活用教育の推進を目的に「電子教材開発に係るニーズ調査」を令和元年6月と11月に実施し、回答のあった電子教材開発に係る要望等について支援活動を行っています。



先生の森【動画版】

<http://rvp.icer.kyushu-u.ac.jp/>

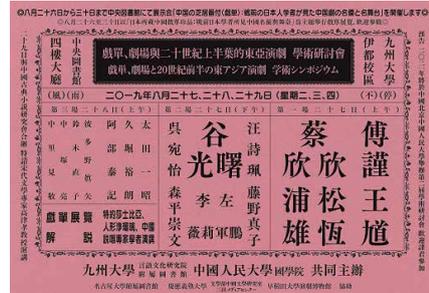
展示会・講演会 Exhibitions & Seminars

「中国の芝居番付(戯単)」展示会

【期 間】令和元年8月26日(月)~30日(金)
 【会 場】九州大学中央図書館3階エントランス
 【主 催】九州大学大学院言語文化研究院、中国人民大学国学院
 【共 催】九州大学附属図書館
 【協 力】名古屋大学附属図書館、慶應義塾大学三田メディアセン
 ター、同文学部中国文学研究室、早稲田大学演劇博物館
 【来場者】197名

中央図書館4階きゆうと commons において開催された第1回「民国演劇、戯単、劇場」国際学術シンポジウム(令和元年8月28日~29日開催)に連動した展示会を開催しました。展示した資料は、当館のコレクションである演文庫の戯単を中心に、名古屋大学、慶應義塾大学、早稲

田大学から出品の協力を得ました。シンポジウムの参加者や中国の留学生等が大変興味を示し盛況に終わりました。



戯単を模したシンポジウム・展示会ポスター

九州大学中央図書館開館一周年記念・第58回附属図書館貴重文物展示「一九三〇年代の九大アジア研究と北京」開催

【期 間】令和元年11月7日(木)~16日(土)
 【会 場】九州大学中央図書館3階エントランス
 【主 催】九州大学附属図書館
 【特別協力】大野城心のふるさと館
 【来場者】442名
 ・関連講演会「一九三〇年代の九大アジア研究と北京一新発見の目
 加田誠『北平日記』を読み解く」
 【日 時】令和元年11月9日(土)
 【会 場】九州大学中央図書館4階きゆうと commons
 【講演者】静永健(九州大学人文科学研究院 教授)
 【来場者】47名

本展示では、九州大学文学部中国文学講座初代教授である目加田誠の北京留学日記『北平日記』をはじめとする貴重な資料や記録をもとに、1930年代の日本と中国の学術交流にスポットをあてました。目加田教授は日本の中国学のパイオニアの一人であり、『詩経』の現代語訳や、元号「平成」制定時に、最終候補案の一つを提出したことで有名です。目加田誠『北平日記』ほか資料の一部は、九州大学と地域連携協定を締結

している大野城市の市民ミュージアム「大野城心のふるさと館」の特別協力を得て展示が実現しました。また、関連講演会では、『北平日記』の発見によって明らかとなった当時の北京における学術交流(日本人留学生×古書店主×北京在住の学者や作家たち)について講演を行いました。講演会終了後に行ったギャラリートークも盛況で、静永教授に熱心に質問をする来場者の姿も多くみられました。

図録「一九三〇年代の九大アジア研究と北京」

<http://hdl.handle.net/2324/2543263>



賑わう展示会場



講演会の様子

トークイベント「学際的な読書の深みへ:ワクワクの森へご招待」開催

【会 期】令和元年度後期 隔週水曜日
 【会 場】九州大学中央図書館4階きゆうと commons
 【共 催】九州大学大学院地球社会統合科学府・九州大学附属図書館
 【参加者】173名(全7回の合計)

学府と図書館のコラボ企画として、地球社会統合科学府6コースの先生方がその多彩な学問領域を「読書」をテーマに紹介するトークイベントを開催しました。全7回を通して、図書館に教員・職員・学生の垣根を超えた対話の場が生まれ、参加者の知的好奇心(ワクワク)を刺激するイベントとなりました。

〈各回紹介〉

【第1回】10/9 施光恒『英語化は愚民化』集英社新書(2015年)/ 施光恒教授・東英寿教授

- 【第2回】10/23 田中克彦『言語からみた民族と国家』岩波現代文庫(2001年)/ 内田諭准教授・鬼丸武士准教授
- 【第3回】11/13 中野等『太閤検地』中公新書(2019年)/ 中野等教授・並木光晴氏(中央公論新社 中公新書編集部)
- 【第4回】11/27 S・ジェイ・グールド『ワンダフル・ライフ』ハヤカワ文庫(2000年)、笠井昌昭・長野仁『虫の知らせ』ジェイキャスト(2007年)/ 仙田量子准教授・松尾和典助教
- 【第5回】12/11 ジョン・ダワー『敗北を抱きしめて』岩波書店(2004年)/ マシュー・オーガスティン准教授・エステバン・コルドバ氏(地球社会統合科学専攻博士)
- 【第6回】1/8 池谷和信『人間にとってスイカとは何か』臨川書店(2014年)/ 藤岡悠一郎講師
- 【第7回】1/22 保莉実『ラディカル・オーラル・ヒストリー』御茶の水書房(2004年)/ 藤田智子講師・小林亮介講師



図書館TA (Cuter) 企画イベント

図書館に自律的な学びの雰囲気を生み出すため、大学院生の図書館TA (Cuter) が自身の専門知識や経験を活かしたイベントを、図書館職員と協働して企画・実施しています。

〈主なイベント〉

●Quricon

学部・学府・学年の垣根を越えて研究交流を図る学際交流イベントです。令和元年度は、「資金を得る者は力をも得る」「多様性の多様性」「ネオ・キュリコニズム」の3回を実施しました。

●Cuter Café

図書館TA (Cuter) が特定テーマについて取り上げるシリーズ企画です。令和元年度は、大学院進学や海外インターンシップにまつわるCuterの経験談を伝えるイベントや、外部講師を招いた本の作り方に関するセミナーを実施しました。

●Cuter本棚

図書館TA (Cuter) 自らが設定したテーマに関するおすすめの本を選び、コメントを付けて展示しています。令和元年度は、「反ベストセラー本」や「選書ツアー選定本」などをテーマに展示を行いました。

芸術工学図書館「サイエンス・プランター」

【会場】九州大学芸術工学図書館1階AIVEA

【開催回数】8回

【総参加者】145名

芸術工学図書館ではサイエンスカフェ形式で気やかな雰囲気のセミナー「サイエンス・プランター」を開催しています。

本セミナーでは芸術工学部の教職員や学生が行う研究や活動を紹介し、新たな興味の「芽」を育むことをコンセプトとしています。

〈各回紹介(令和元年度 8回開催)〉

- 【第1回】4/25 石井達郎准教授(コンテンツ・クリエイティブデザイン部門)「立体映像・プロジェクションマッピング …… デジタル映像時代における拡張表現～」
- 【第2回】5/28 松隈浩之准教授(コンテンツ・クリエイティブデザイン部門)「Games save the world!～デジタルゲームが世界を救う!～」

- 【第3回】6/26 杉本美貴准教授(デザイン・ストラテジー部門)「1時間でわかるプロダクトデザイン」
- 【第4回】7/25 知足美加子准教授(コンテンツ・クリエイティブデザイン部門)「芸術のなかの物語とサイエンス・彫刻制作のプロセスから」
- 【第5回】10/25 妹尾武治准教授(デザイン・人間科学部門)、石井達郎准教授、松隈浩之准教授、萱野孝幸氏(芸卒卒業生、『電気海月のインシデント』監督)、金石智宏氏、西谷郁氏、西村翼氏「映画を観よう、映画を撮ろう」
- 【第6回】11/25 尾方義人准教授(デザイン・ストラテジー部門)「『狭義で、低次で、クラシカルな』デザイナーの商品化(デザイン)や実装(ソーシャル)や商売(ビジネス)や融合(デザイン教育)の話」
- 【第7回】12/20 古賀徹教授(コンテンツ・クリエイティブデザイン部門)「普通に生きていることを問題化する何か」
- 【第8回】1/24 谷正和教授(環境デザイン部門)「人類の移動、難民の移動」

*所属肩書は開催時によるものとする。

医学図書館 図書展示

【期間】平成31年4月1日(月)～令和2年3月31日(火)

【会場】九州大学医学図書館1階ロビー

総合大学であるメリットを活かし、医学系の学生や研究者にとって有益な本を集めました。テーマを入れ替え、医学図書館1階ロビー、閲覧室にて展示しました。(全6回)

〈テーマ一覧〉

1. 研究活動に必ず役に立つ論文作成、プレゼンの本
2. 読んで変わる!!医療関係者のためのコミュニケーション
3. Cute.Guidesオススメ展示

4. 闘病記文庫
5. よみぐすり～あなたに効く本きつとここにあります～(Cuter企画)
6. Cuter本棚～選書ツアー選定本@医学図書館(Cuter企画)



展示の様子

中央図書館・理系図書館 各種イベント

中央図書館と理系図書館では、新たな利用者の掘り起こしと図書館の継続的な利用をねらって、折々の季節と関連したイベントを開催しています。

4月の「世にも楽しい新歓ショー」では新入生を歓迎するため、落語研究会・ジャグリング部・マジックサークルが、12月の「Happy Holidays!コンサート」では、九大フィルハーモニー・オーケストラ・男声合唱団コーラルアカデミー・軽音楽部ジャズ研究会・アカペラサークル(HarmoQ)がクリスマスシーズンの楽しい一時を演出してくれました。

また、エントランスに設置する七夕の笹には毎年利用者からたくさんの短冊が飾られ、図書館の夏の風物詩として定着しています。試験期～夏休みには、中央図書館内をくまなく歩き、資料やOPACも駆使すること

で、図書館の様々な使い方を知ってもらおう本格的な謎解きイベント「図書館クエスト#2」を学生と協働して開催しました。



中央図書館玄関前の七夕飾り



理系図書館でのHappy Holidays!コンサート

展示会・講演会 Exhibitions & Seminars

研究データサービスおよび研究インパクト指標に関する国際イベント

【共同開催】九州大学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
九州大学附属図書館

【会場】九州大学中央図書館4階きゅうと commons

【講師・モデレーター】

Heidi Imker氏 (イリノイ大学図書館リサーチデータサービス部門長)

William H Mischo氏 (イリノイ大学工学図書館長)

Mary C Schlembach氏 (イリノイ大学図書館化学&物理専門図書館員)

富浦洋一 (九州大学附属図書館副館長・理系図書館長)

石田栄美 (九州大学附属図書館研究開発室)

シンポジウム「大学における研究データサービス」

【日時】令和元年12月5日(木) 13:00~17:05

【参加者】66名

ワークショップ「大学における研究データサービス」

【日時】令和元年12月6日(金) 10:00~16:00

【参加者】40名

セミナー「研究インパクト指標」

【日時】令和元年12月9日(月) 10:00~12:00

【参加者】36名

九州大学附属図書館・大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻共同開催企画として、研究データサービスおよび研究インパクト指標に関するシンポジウム・ワークショップ・セミナーを3日間にわたり開催しました。これら一連の企画は、本学とイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校との戦略的パートナーシップの一環として、先進的な研究データサービスに取り組んでいるイリノイ大学図書館より3名の講師を招聘して実施しました。

1日目のシンポジウム「大学における研究データサービス」では、図書館の研究データサービス部門におけるサービスや、サブジェクトライブラリアンによる研究者への研究データ支援の実際が紹介され、日本の大学における研究データサービスの方向性について議論が行われました。つづく翌日には、シンポジウムをふまえた内容のワークショップを実施しました。さらに3日目には、イリノイ大学の図書館職員に加えて同大学より副プロボストが来校し、本学及びイリノイ大学の交流促進を願う開会挨拶ののち、大学図書館で開発された研究インパクト指標に関する講義が行われました。

参加者は3日間で延べ142名にのぼり、本トピックに関心を持つ全国の研究者及び大学職員等から注目を集める企画となりました。

当日の資料と動画の一部は下記URLで公開しています。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/news/30935>



活発な議論が交わされた
パネルディスカッション



グループワークに取り組む
参加者

シンポジウム「情報ガバナンスと文理融合教育の課題」

【日時】令和2年1月24日(金) 13:00~19:00

【会場】九州大学(伊都)中央図書館4階きゅうと commons

【主催】九州大学アジア・オセアニア研究教育機構・文化変動ク
ラスタ、九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイ
エンス専攻

【共催】九州大学大学院人文科学研究院、九州大学共創学部、九
州大学附属図書館 他

【参加者】55名

「情報ガバナンス」の課題を検討するとともに、文理融合型人材の育成について議論するシンポジウムを開催しました。

【プログラム】

趣旨説明

セッションⅠ 基調講演「先端技術と人権」

セッションⅡ 研究報告「情報ガバナンスの課題」

セッションⅢ パネル・ディスカッション「文理融合教育の課題」

CAT2020説明会

【日時】令和元年9月20日(金) 13:30-15:30

【会場】九州大学中央図書館4階きゅうと commons

【主催】国立情報学研究所

【共催】九州大学附属図書館

【参加者】88名

令和2年以降の目録所在情報システムCAT2020の説明会を共催し

ました。全国各地から参加申込が殺到し、申込開始から即日で定員に達するなど、大きな関心を集めました。

説明会では、藤井眞樹氏(国立情報学研究所)、佐藤初美氏(東北大学附属図書館)の両名より、書誌作成単位や並立書誌といった現行からの変更点などについて、詳しく解説いただきました。質疑応答では参加者から活発に意見が述べられ、CAT2020の円滑な運用に積極的に取り組もうという意識の高さがうかがえました。

国際化拠点図書館としての機能

高等教育の国際化が急速に進む中、国際化拠点として開館した中央図書館では、さまざまなイベントや研修等が活発に開催されています。

【国際部や教職員による研修・イベント】(一例)

研修・イベント名	開催期間
海外留学フェア	平成31年4月24日
Oxford-Kyushu Model United Nations Camp 説明会	令和元年5月16日
Job Hunting Sucks! How to (Effectively) Find a Job as a Foreign Student	令和元年5月17日
"The Arts of the Atomic Age" - Book Talk	令和元年6月6日
グローバル人材養成研修	令和元年9月24日~10月11日
台湾師範大学ベンチマーキング	令和元年10月28日
中国留学生学術交流会	令和元年11月18日
QS-APPLE:IAAC委員会	令和元年11月28日
シンポジウム・ワークショップ「大学における研究データサービス」	令和元年12月5日~6日
ASEAN in Today's World短期留学プログラム出発前集中英語研修	令和2年2月19日
中村哲氏追悼パネル展示	令和2年2月21日~28日
英語研究発表ポスター作成ワークショップ	令和2年2月28日

【Campus France Tour 2019】

Campus France (フランス政府留学局)による、フランス留学促進イベント「Campus France Tour 2019」の特別講演会が理系図書館の国際交流ラウンジで開催されました。おもに理系学生を対象として、在日フランス大使館科学技術参事官ジャン=クリストフ・オフレ氏より、研究留学、奨学金、日本におけるフランス企業に関する講演があり、学生との間で活発な質疑応答が行われました。

また、国際部と連携し、Campus France Tour 2019のタイアップ企画として、中央図書館ではフランス留学への興味を喚起する図書の展示を行い、理系図書館ではフランス映画の上映会を行いました。両企画とも大変好評で、本学学生のフランス文化やフランス留学への関心を高めるよい機会となりました。



(左) Campus France Tour特別講演会
(右) フランス関連図書展示



資料交換

九州大学→慶北大学 11冊を寄贈

海外往来

—往訪—

【訪問者】石田 栄美(研究開発室准教授)

渡邊由紀子(学術サポート課長・准教授)

【日 程】令和元年6月20日~6月27日

【訪問先】ワシントンD.C(アメリカ)

【目 的】2019 ALA Annual Conference & Exhibitionに参加
ジョンズ・ホプキンス大学図書館、メリーランド大学図書館における情報収集

【訪問者】富浦 洋一(副館長・理系図書館長)

石田 栄美(研究開発室准教授)

【日 程】令和元年10月17日~10月27日

【訪問先】メルボルン、クレイトン(オーストラリア)

【目 的】ASIS&T年次大会等に参加
モナッシュ大学図書館、メルボルン大学ABP図書館及び
Baillieu図書館、RMIT大学図書館における情報収集

【訪問者】石田 栄美(研究開発室准教授)

【日 程】令和元年11月3日

【訪問先】クアラルンプール(マレーシア)

【目 的】International Conference on Asian Digital Libraries
(ICADL 2019)に参加

【訪問者】石田 栄美(研究開発室准教授)

内山 英昭(研究開発室准教授)

渡邊由紀子(学術サポート課長・准教授)

福嶋 香奈(収書整理課雑誌情報係員)

【日 程】令和元年11月4日~11月8日

【訪問先】クアラルンプール(マレーシア)

【目 的】Asia-Pacific Library and Information Education and
Practice Conference (A-Liep 2019)に参加

【訪問者】岩崎 崇宏(医学図書館閲覧係員)

【日 程】令和元年9月23日~10月30日

【訪問先】マニラ(フィリピン)

【目 的】令和元年度九州大学職員海外研修(アテネオ・デ・マニラ大学)

—来訪—

【訪問者】Dr. Heidi Imker 氏(イリノイ大学図書館リサーチデータサービス部門長)

William H Mischo 氏(イリノイ大学工学図書館長)

Mary C Schlembach 氏(イリノイ大学図書館化学&物理専門図書館員)

【日 程】令和元年12月5日~12月9日

【目 的】研究データサービスおよび研究インパクト指標に関する国際イベントにおける講演

職員のJICA青年海外協力隊派遣

大田 海 収書整理課雑誌情報係員が、本学の自己啓発等休業制度を利用し、JICA青年海外協力隊員としてサモアへ派遣されました。令和2

年1月~令和4年1月(予定)の間、派遣先の大学で資料の保存・電子化等の業務を支援します。

講習会/Cute.Guides Library Workshop / Cute.Guides

◆講習会

学習・研究を行う上で必要な文献を効率よく探し活用できるよう、学生・教職員を対象に様々な講習会を開催しています。図書館側であらかじめ内容や日時を設定し広く参加を呼びかける「図書館企画」の講習会、教員からの要望に応じて内容や日時を全てカスタマイズして行う「オンデマンド」の講習会を並行して実施しています。令和元年度は、各図書館において実施した講習会の総受講者数が、平成13年度に図書館による

〈注目の講習会〉

●レポートの書き方講座／実験レポート講座／プレゼン講座

基幹教育の授業支援として図書館TA (Cuter) と協力して開催している講習会です。受講者にとって一層満足度の高い講座にするために、図書館TA (Cuter) と図書館職員が議論を重ね、内容をブラッシュアップしています。令和元年度は、レポートの書き方講座とプレゼン講座で過去最高の受講者数を記録、レポートの書き方講座は学部1年生の約2割が受講しました。また、平成30年度から公開を始めた実験レポート講座に加え、レポートの書き方講座、プレゼン講座のeラーニング教材も、本学のM2B学習支援システムにおいて学生向けに公開しました。

●文献の探し方講座

日本語・英語文献を探す検索ツールの活用法に関する講習会を、全てのキャンパスで前期と後期にそれぞれ実施しました。前期の講座は新入大学院生を主な対象とし、研究生生活のスタートに弾みをつける有益な機会となりました。講習会は日本語だけでなく、留学生を対象に英語でも行いました。

●文献整理法講座

文献管理ツールであるMendeleyとEndNote basicの使い方を説明する講習会です。文献の探し方講座と同様、全てのキャンパスにおいて前期と後期にそれぞれ日本語と英語で実施しました。後期の講座では、外国籍の学生の参加比率が48.8%となり、昨年度から12ポイント増加しました。

◆Cute.Guides

Cute.Guidesは附属図書館がWeb上で提供する調べ方ガイド・学習ガイドです。平成25年3月の正式公開以来、図書館職員や図書館TA (Cuter) が様々なコンテンツを作成し、テーマごとの解説とともに参考図書等の役立つ情報源を紹介しています。

図書館ウェブサイト>Cute.Guides

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp>

ガイド総数 179点 (令和2年3月31日現在)

アクセス数 1,424,260ページビュー (令和元年度、前年度比125%)

〈令和元年度に公開した主なガイド〉

●シリーズ「私の卒論ができるまで」

修士課程の図書館TA (Cuter) が、学部時代にどのように卒業論文に取り組んだかを詳しく語るシリーズガイドです。令和元年度は工学部卒

全学的な講習会を開始して以来最大の6,110名にのびりました。

演習や実習を伴う講習会では、講師の他に複数の職員が受講者を個別にサポートすることで、講習内容の理解度向上を図りました。また、図書館TA (Cuter) が講師を務める講習会として、毎年実施しているレポートの書き方・実験レポート・プレゼン講座に加え、図書館TA (Cuter) の専門知識を活かしたソフトウェア講習会も開催しました。

●3DCAD Fusion360講習会

芸術工学府修士2年の図書館TA (Cuter) が講師となり、画像設計ソフトウェアのFusion360の使い方を学ぶ講習会を開催しました。

令和元(2019)年度実績

●種類別

会場	図書館企画		オンデマンド		計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
伊都(中央)	34	948	28	3,202	62	4,150
伊都(理系)	38	605	16	581	54	1,186
病院	34	357	12	297	46	654
芸工	7	65	0	0	7	65
筑紫	10	55	0	0	10	55
合計	123	2,030	56	4,080	179	6,110

●受講者別

会場	受講者数					計
	教職員	院生	学部生	学内その他	学外者	
伊都(中央)	115	214	3,761	60	0	4,150
伊都(理系)	36	215	876	59	0	1,186
病院	176	206	255	17	0	654
芸工	1	23	31	9	1	65
筑紫	12	33	0	10	0	55
合計	340	691	4,923	155	1	6,110

●実施言語別

言語	回数	受講者数
日本語	160	5,806
英語	19	304

●講師別

講師	回数	受講者数
図書館職員	130	4,959
Cuter	25	811
外部講師	24	340

の図書館TA (Cuter) によるガイドが加わり、本シリーズによるガイドは合計9点となりました。

●エアエステを利用した研究型海外インターンシップのすゝめ

図書館TA (Cuter) 自身が参加したエアエステをはじめ、海外インターンシップの概要、種類、申し込み方法などを説明しています。自らの体験をもとにした海外インターンの様子なども紹介しており、これから海外インターンシップを考える人にとって役に立つガイドとなっています。

●失敗から学ぶプレゼン小技集

図書館職員や図書館TA (Cuter) のプレゼンにおける実際の失敗談を題材として、これからプレゼンに臨む人へのアドバイスを掲載しています。発表の際に気を付けるべき機器の接続方法や、図書館が提供する資料や施設の紹介も行ってあり、プレゼンをする前に必見のガイドです。

新規コレクション・ デジタルコンテンツ・ 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

Newly Released Collection・
Digital Contents・
Kyushu University Institutional Repository (QIR)

新規コレクション

◆寄贈コレクション

●宇賀田文庫(中央図書館)

法文学部教授 宇賀田順三博士(1898~1979)の義理のご子息である多田秀敏様よりご寄贈いただいた、宇賀田博士の旧蔵書約1,600冊の整理が終了し、中央図書館4階4Bエリアに配架いたしました。一部資料は、貴重書庫に収蔵しております。

宇賀田文庫は19世紀から20世紀にかけてのドイツ法(憲法、行政法、地方自治法)を中心とした、貴重な書物を多く含むコレクションです。

●雅俗文庫(追加寄贈)(中央図書館)

中野三敏名誉教授の旧蔵書約140点を追加寄贈いただき、本学の雅俗文庫に加わりました。

雅俗文庫は、令和元年11月に逝去された中野名誉教授が蒐集した江

戸期和本を中心とするコレクションで、江戸時代の雅の文化(和歌・漢詩・擬古文等の伝統文化)と俗の文化(俳諧・川柳・小説等の新興文化)双方にわたる広範なジャンルの文献が蒐集されています。

平成21年度の漢詩文や絵本を中心とする626点の購入を皮切りに、随筆・俳諧・漢学・技芸・法帖などが多数寄贈されてきました。今回の新たに加わった140点は、中野名誉教授のご生前にご寄贈いただいたものです。

●紀泰山銘拓本(中央図書館)

竹村則行名誉教授より、山東泰山に現存する唐玄宗「紀泰山銘」の原拓2部及び関係資料をご寄贈いただきました。

デジタルコンテンツ

●貴重資料のデジタル化画像の公開

記録資料館からの画像提供やインターンシップ学生の撮影作業により、貴重資料の画像公開を精力的に進めました。また、国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」(平成26~令和5年度)の連携拠点大学として、令和元年度より和本のデジタル化を本格的に開始しました。業者委託及び専任事務補佐員の雇用により、本年度は約1,307点のデジタル化を行い、同資料館の新日本古典籍総合データベース及び本学附属図書館の「九大コレクション」から公開予定です。

〈令和元年度の主な新規公開コンテンツ〉

- ・記録資料館九州文化史資料部門所蔵の写本類 1,498 点
- ・記録資料館九州文化史資料部門所蔵元山文庫所収『The Far East』(日本最初の写真画報:1870-1871)27 点
- ・国際文庫所収 戦前アジア太平洋地域を中心とする写真資料184 枚
- ・古医書コレクション(杏仁醫館文庫)所収『養生訓』4点 等

令和元年度新規公開点数: 1,949点 44,748コマ
累積の公開点数: 6,201点 363,208コマ (令和2年3月31日現在)
利用件数: 5,669件(令和元年度)



古医書コレクション(杏仁醫館文庫)
/『養生訓』巻之1-2



The Far East: an illustrated
fortnightly newspaper vol.2 no.8

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

令和元年12月、QIRの公開コンテンツが4万件を突破しました。特に今年度は、人文科学研究院紀要三誌のバックナンバー公開により、OA方針対象コンテンツの公開数が大幅に増加しました。

令和元年度新規登録件数 4,286件
うち
> OA方針対象コンテンツ 3,074件
> Q-RADeRSからの登録 105件
累積登録件数 41,569件 (令和2年3月31日現在)
利用件数 3,797,091件 (令和元年度)
※OA方針対象コンテンツ: 学術雑誌論文・会議発表論文・紀要論文

〈令和元年度の主なバックナンバー公開〉

- ・『史淵』(九州大学大学院人文科学研究院)1-136号(昭和4(1929)年-平成11(1999)年)
- ・『文学研究』(九州大学大学院人文科学研究院)1-97号(昭和7(1932)年-平成12(2000)年)
- ・『哲学年報』(九州大学大学院人文科学研究院)1-59号(昭和15(1940)年-平成12(2000)年)

主な広報活動

- ・新任教員FDでのOA方針案内資料の配布
- ・部局FDやOAウィークでのOAチラシ配布・掲示:「学術雑誌論文編」「博士論文編」「QIR活用編」

研究開発室 Research & Development

令和元年度研究開発室研究開発事項

● 総括

研究開発の総括	宮本 一夫 (附属図書館長、副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	--------------------	---

● I 学習・教育活動との連携に関する分野

図書館による学習・教育支援に関する調査研究	富浦 洋一 (副館長) 石田 栄美 (研究開発室) 内山 英昭 (研究開発室) 山田 政寛 (基幹教育院)	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行う。
図書館による教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田 義広 (付設教材開発センター) 吉田 素文 (特別研究員) 金子 晃介 (サイバーセキュリティセンター) (協力教員)	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかる著作権処理問題について調査研究を行う。

● II コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

九州大学所蔵資料および資料保存に関する調査研究	川平 敏文 (人文科学研究院) 中里 見敬 (言語文化研究院) 永島 広紀 (韓国研究センター) 三輪 宗弘 (付設記録資料館) 梶嶋 政司 (付設記録資料館) 古賀 康士 (付設記録資料館) Wolfgang Michel (特別研究員) 和仁 かや (特別研究員)	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、由来や内容、価値等の調査や、画像及び書誌データベース作成等についての調査研究を行うとともに、図書館における資料保存・管理体制等についての調査研究を行う。
図書館に係る学術情報の流通および発信に関する調査研究	富浦 洋一 (副館長) 内山 英昭 (研究開発室) 畑埜 晃平 (基幹教育院) 廣川 佐千男 (情報基盤研究開発センター) 伊東 栄典 (情報基盤研究開発センター) 池田 大輔 (システム情報科学研究院)	学術情報資源をより効果的に発信するために、発信機能の高度化と検索システムに関する研究開発を行う。

● III 図書館運営に関する分野

図書館における高度専門知識を有する人材育成に関する調査研究	石田 栄美 (研究開発室) 岡崎 敦 (人文科学研究院)	図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
図書館サービスの創出に関する調査研究	石田 栄美 (研究開発室) 内山 英昭 (研究開発室) 畑埜 晃平 (基幹教育院)	図書館利用状況の分析や国内外図書館の視察等にもとづき、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。

● 「九州大学所蔵資料および資料保存に関する調査研究」事項の活動 (資料保存関係)

研究開発室「九州大学所蔵資料および資料保存に関する調査研究」事項に参画する図書館職員が、令和元年度国立大学図書館協会地区協会助成事業「九州地区西洋古典資料保存講習会・実習」の開催に協力しました (講習会・実習の詳細はp.14を参照)。

当該事項に参加する図書館職員は、1日目の講習会では、九州大学における資料保存の事例発表や保存容器の紹介等を行いました。具体的な事例と対処に関する説明は、他大学においても大変参考になると参加者から好評でした。加えて、2日目の実習では、参加者の作業補助を担当しました。資料保存活動経験者のきめ細やかなサポートのもと、実習を円滑に進めることができました。

本学の図書館職員にとっても、研究開発室における自らの活動の蓄積を他者に伝える貴重な機会となり、受講者、運営側ともに有意義な研修となりました。



講習会の様子



保存容器の展示

第8回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー

国立大学図書館協会地区助成事業として、第8回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナーを開催しました。本セミナーは、中国・四国・九州・沖縄地区大学等の図書館職員として採用された職員が、職員としての第一歩を踏み出すにあたって必要な図書館業務の知識を修得することを目的としています。

今回は大学図書館採用3年以内の図書館職員29名の参加がありました。堀賀貴九州大学大学院人間環境学研究院教授の基調講演につき、当館の5名の職員が講師となり、利用者サービス、学習・研究支援、収書整理、eリソースの整備・運用のテーマで講義を行いました。その後、4班に分かれてグループワークを行い、最後に「九大新中央図書館への新提案」として各班の成果を発表しました。

参加者からは「他大学の事例や課題を知ることができて良い刺激を受けた」「他大学の職員と交流できる貴重な機会となった」等の感想があり、今後の地区内の人的ネットワークの形成にもつながる有意義なセミナーとなりました。

【開催日】令和元年9月12日(木)～13日(金)

【会場】九州大学中央図書館4階きゆうとコモンズ

【主催】国立大学図書館協会九州地区協会、九州地区大学図書館協議会、国立大学図書館協会中国四国地区協会、中国四国地区大学図書館協議会

【参加者】29名

講義資料は下記URLで公開しています。

九州大学附属図書館における学習・研究支援
<http://hdl.handle.net/2324/2344589>

利用者サービス課の業務について
<http://hdl.handle.net/2324/2344838>

収書と整理
<http://hdl.handle.net/2324/2344839>

「九大コレクション」の整備と運用
<http://hdl.handle.net/2324/2344587>



講義の様子



発表準備を行う参加者

令和元年度国立大学図書館協会地区協会助成事業「九州地区西洋古典資料保存講習会・実習」

国立大学図書館協会地区助成事業として、「九州地区西洋古典資料保存講習会・実習」を2日間にわたり開催しました。

1日目の講習会では、一橋大学の講師による講義・実演・事例報告および九州大学附属図書館職員が本学における取り組み紹介を行いました。つづく2日目の実習では、封筒フォルダ作成、保存箱作成、保護ジャケット作成等を行いました。受講者からは、「このような内容の研修を九州で受講できて助かった」「自館でも見かけられるような事例について講義してもらい大変参考になった」等の感想があり、資料保存に関する研修機会が少ない九州地区において、資料保存に関する知識・技術の向上を図る貴重な機会となりました。

資料は下記URLで公開しています。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/events/20191212>

【主催】九州地区国立大学図書館協会、九州大学附属図書館、一橋大学社会科学古典資料センター

【後援】九州地区大学図書館協議会、一橋大学附属図書館

講習会

【開催日】令和元年12月12日(木) 13:00～17:00

【会場】九州大学中央図書館4階きゆうとコモンズ

【参加者】38名

実習

【開催日】令和元年12月13日(金) 9:10～12:00

【会場】九州大学中央図書館4階会議室

【参加者】10名

カビに関する講義と処理実習

学内図書館職員を対象として理系図書館を会場に、専門業者から講師を迎え講義と実習をおこないました。カビの基礎知識を学んだ後、環境管理についての説明、カビと埃の見分け方、図書館職員で対処できるレベルの判断などについて講義を受け、クリーニング実習を実施しました。環境管理について意識的であることの大切さを学ぶ、よい機会とな

りました。

【開催日】令和元年6月11日(火)

【会場】九州大学理系図書館3階大会議室

【参加者】18名

統計 = 利用サービス = Statistics

令和元(2019)年度

			中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	合計 Total
年間開館日数 Opening days (人)	平日 Weekday		237	235	236	236	235	1,179
	土曜 Saturday		47	46	33	47	46	219
	日曜・祝日 Others		59	57	3	0	57	176
	合計 Total		343	338	272	283	338	1,574
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties		23,591	9,343	2,398	9,091	13,915	58,338
	学生 Students		380,117	101,014	27,092	36,360	284,685	829,268
	学外者 Others		21,268	6,940	244	6,279	4,901	39,632
	合計 Total		424,976	117,297	29,734	51,730	303,501	927,238
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties		20,482	4,776	1,727	1,479	10,043	38,507
	学生 Students		98,823	10,809	10,762	5,312	57,966	183,672
	学外者 Others		609	658	343	216	1,522	3,348
	合計 Total		119,914	16,243	12,832	7,007	69,531	225,527
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties		10,713	2,922	849	1,095	6,261	21,840
	学生 Students		54,955	7,832	5,453	3,866	37,512	109,618
	学外者 Others		375	274	172	139	620	1,580
	合計 Total		66,043	11,028	6,474	5,100	44,393	133,038
文献複写等件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)		2,160	6,129	194	32	822	9,337
	学外からの受付(国外) Requests(International)		48	0	0	0	0	48
	小計 Subtotal		2,208	6,129	194	32	822	9,385
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)		732	712	83	20	228	1,775
			180	245	12	13	165	615
	合計 Total		2,940	6,841	277	52	1,050	11,160
	(うち謝絶) (cancel)		381	664	33	13	55	1,146
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)		1,868	1,562	147	84	344	4,005
	学外への依頼(国外) Received(International)		3	0	0	0	0	3
	合計 Total		1,871	1,562	147	84	344	4,008
	(うち謝絶) (cancel)		99	50	35	27	41	252
	NDL閲覧 Browse(NDL)		212	3	-	-	14	229
NDL複写 Copies(NDL)		267	2	-	-	7	276	
合計 Total		479	5	-	0	21	505	
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)		1,512	34	123	20	201	1,890
	学外からの受付(国外) Borrows(International)		0	0	0	0	0	0
	合計 Total		1,512	34	123	20	201	1,890
	(うち謝絶) (cancel)		379	14	30	2	8	433
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)		837	52	46	6	58	999
	学外への依頼(国外) Loans(International)		9	0	0	0	0	9
合計 Total		846	52	46	6	58	1,008	
(うち謝絶) (cancel)		174	17	3	2	5	201	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties		253	53	35	230	447	1,018
	学生 Students		1,550	72	230	165	2,257	4,274
	学外者 Others		860	79	76	168	260	1,443
	合計 Total		2,663	204	341	563	2,964	6,735
	所在調査 Holdings		624	46	10	87	773	1,540
	事項調査 Topics		247	40	8	217	135	647
	利用指導・その他 Instructions /Others		1,792	118	323	259	2,056	4,548
合計 Total		2,663	204	341	563	2,964	6,735	

文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む
NDLは、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」を示す



電子ジャーナルの利用 (主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2019.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	319,672	Nature Site License	88,330
American Institute of Physics (AIP)	47,564	ProQuest Central	41,952
American Physical Society (APS)	34,023	Science online	61,658
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	1,082,858	SpringerLink	204,611
IEEE POP	16,710	Wiley Online Library	394,221
JSTOR Arts & Sciences I, II	12,558	合計 Total	2,304,157

電子ブックの利用 (主要プラットフォームの利用件数)

E-books

Number of use in major e-book platforms

2019.1.1-12.31

プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access	プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access
EBSCOhost	3,201	ProQuest Central	4,309
JapanKnowledge	127,673	ScienceDirect	3,314
Maruzen eBook Library	17,825	SpringerLink	12,558
OUP	2,887	Wiley Online Library	7,605
		合計 Total	179,372

情報検索サービスの利用

Databases

2019.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions	
ディスカバリサービス Discovery services	九大コレクション	ディスカバリ(ローカル)	2,630,617	-	
	文献情報 Abstracts & index databases	SciFinder	化学	229,073	50,329
		Web of Science	全分野	236,174	125,385
		Scopus	全分野	174,868	79,799
		医中誌Web	医学(国内)	150,279	55,807
		Business Source Complete (EBSCOhost)	経済・経営学	66,663	54,329
		Econlit (EBSCOhost)	経済学	66,017	66,036
		CINAHL (EBSCOhost)	看護学	64,926	27,395
		PsycINFO (Ovid)	心理学	1,177	446
		MEDLINE (Ovid)	医学	1,169	381
EBM Reviews (Ovid)		医学	1,854	1,289	
ERIC (Ovid)	教育学	185	143		
事典類 References	JapanKnowledge	(国内)	175,593	19,318	
	Gale Virtual Reference Library		243	62	
	理科年表プレミアム	(国内)	-	374	
	化学書資料館	(国内)	-	16,981	
	研究社オンライン・ディクショナリー		-	525	
新聞 Newspaper articles	聞蔵II ビジュアル for Libraries	朝日新聞など	54,592	9,426	
	西日本新聞記事データベース「ナビルス」	西日本新聞記事	8,018	-	
	毎日新聞社データベース「毎索」	毎日新聞記事	7,330	2,188	
	ヨミダス歴史館	読売新聞など	13,297	-	
その他 Others	Journal Citation Reports [JCR]	インパクトファクター	16,774	11,096	
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	355,519	-	
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	35,523	-	
	マイページ	図書館ポータル	-	279,365	

学内配送サービスの利用 (図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

令和元(2019)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	計 Total
中央図書館 Central Lib.			8,446	2,098	3,198	966	14,708
理系図書館 Science and Technology Lib.		8,210		1,223	1,285	1,114	11,832
医学図書館 Medical Lib.		2,696	1,351		349	272	4,668
芸術工学図書館 Design Lib.		3,497	1,325	312		207	5,341
筑紫図書館 Chikushi Lib.		1,127	1,229	282	234		2,872
計 Total		15,530	12,351	3,915	5,066	2,559	39,421

統計 = 基盤サービス = Statistics

■ 図書・雑誌 (冊子体) の受入 Current acquisitions of materials

令和元(2019)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	中央図書館 Central Library	7,302	3,462	10,764	618	217	835
	人文科学研究院 Faculty of Humanities	2,328	1,023	3,351	1,630	197	1,827
	人間環境学研究院 Faculty of Human-Environment Studies	490	149	639	386	88	474
	法学研究院※法務学府含む Faculty of Law	2,637	920	3,557	564	252	816
	経済学研究院 Faculty of Economics	595	306	901	416	178	594
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	864	226	1,090	83	24	107
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	515	257	772	13	20	33
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	159	77	236	5	3	8
	共創学部 School of Interdisciplinary Science and Innovation	0	0	0	0	0	0
	小計 Central Library Total	14,890	6,420	21,310	3,715	979	4,694
医学図書館 Medical Library	医学図書館 Medical Library	869	643	1,512	525	134	659
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	61	1	62	48	22	70
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	0	0	11	13	24
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	0	0	0	8	1	9
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	0	0	0	0	0
	病院(医・歯) University Hospital	71	73	144	165	94	259
	小計 Medical Library Total	1,001	717	1,718	757	264	1,021
芸術工学図書館 Design Library	1,371	171	1,542	414	40	454	
建築図書館 Chikushi Library	建築図書館 Chikushi Library	400	107	507	138	8	146
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	0	6	6	12	0	12
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	13	3	16
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	0	0	0	1	0	1
	小計 Chikushi Library Total	400	113	513	164	11	175
理系図書館 Science and Technology Library	理系図書館 Science and Technology Library	3,075	1,034	4,109	126	18	144
	理学研究院 Faculty of Science	15	74	89	58	44	102
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	155	1,795	1,950	29	312	341
	工学研究院 Faculty of Engineering	183	415	598	113	107	220
	システム情報学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	42	56	98	36	21	57
	農学研究院 Faculty of Agriculture	424	207	631	397	350	747
	小計 Science and Technology Library Total	3,894	3,581	7,475	759	852	1,611
別府病院 Beppu Hospital	0	0	0	2	0	2	
記録資料館 Manuscript Library	10	0	10	53	0	53	
合計 Total	21,566	11,002	32,568	5,864	2,146	8,010	

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館の単位で大区分を行い、その中を部局・附置研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館の項目に計上している。

(注2) 統合新領域学府ユーザーサイエンス専攻、ライブラリーサイエンス専攻、韓国センター、留学生センター、EUセンターは、中央図書館の項目に計上している。

(注3) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリー研究所、情報基盤研究開発センターは、理系図書館の項目に計上している。

(注4) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

資料費 Expenditures for library materials

令和元(2019)年度
(単位:千円/thousand yen)

	図書費 Books	雑誌・新聞費 Serials	eリソース Electronic resources	その他 Others	資料費総額
					Total
中央図書館 Central Library	146,870	75,604	691,729	9,056	923,258
医学図書館 Medical Library	17,511	15,268	19,488	0	52,266
芸術工学図書館 Design Library	8,808	4,650	174	1,454	15,087
筑紫図書館 Chikushi Library	8,049	4,617	132	27	12,825
理系図書館 Science and Technology Library	67,728	65,669	15,957	3,938	153,292
別府病院 Beppu Hospital	0	62	174	0	236
記録資料館 Manuscript Library	1,351	64	0	49	1,464
合計 Total	250,316	165,933	727,653	14,524	1,158,427

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上

(注2) eリソースにはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む

(注4) 情報基盤研究開発センターは理系図書館に計上

電子ブック・電子ジャーナル E-Books and E-Journals

令和2年(2020)年4月1日現在

アクセス可能な電子ブック(無料タイトル含む) Accessible e-books(including free titles)

純タイトル数 Unique titles 531,478

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む) Accesible e-journals(including free titles)

純タイトル数 Unique titles 125,294

契約タイトル数 Licensed e-Journals

令和2年(2020)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	61	KISS: 人文・社会・語文・芸術・体育雑誌	1,341
American Institute of Physics (AIP)	12	LexisNexis: Nexis Uni	10,213
American Physical Society (APS)	11	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	33
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	31	Medical Online Library (MOL) *	1,454
Association for Computing Machinery: ACM Portal	1,405	OECD iLibrary	151
Cambridge University Press	63	Oxford University Press	39
Cell Press	11	ProQuest Central	23,068
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	Science (AAAS)	3
CNKI: 中国学術雑誌(CAJ)	4,050	Springer Nature: Nature	32
DBpia: 人文社会系パッケージ	1,289	Springer Nature: SpringerLink	66
EBSCOhost: Business Source Complete	3,709	Taylor & Francis	82
EBSCOhost: EconLit with Full Text	668	UniBio Press *	5
Elsevier ScienceDirect	2,334	University of Chicago Press	4
IEEE: ASPP Online, POP Online	317	Wiley Online Library	1,498
IEICE *	8	World Scientific Publishing	4
Institute of Physics (IOP)	18	日本物理学会(JPS) *	1
Journals@Ovid	1	その他	389
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	384	合計 Total	52,757

* 国内誌

蔵書数 Holdings

令和2(2020)年3月31日現在

	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	1,589,617	875,323	2,464,940	27,004	10,879	37,883
医学図書館 Medical Library	140,408	182,710	323,118	2,862	7,119	9,981
芸術工学図書館 Design Library	138,604	52,757	191,361	2,073	987	3,060
筑紫図書館 Chikushi Library	66,507	70,670	137,177	532	1,093	1,625
理系図書館 Science and Technology Library	401,332	613,205	1,014,537	9,919	13,690	23,609
別府病院 Beppu Hospital	6,825	14,346	21,171	292	347	639
記録資料館 Manuscript Library	46,625	3,767	50,392	60	2	62
合計 Total	2,389,918	1,812,778	4,202,696	42,742	34,117	76,859

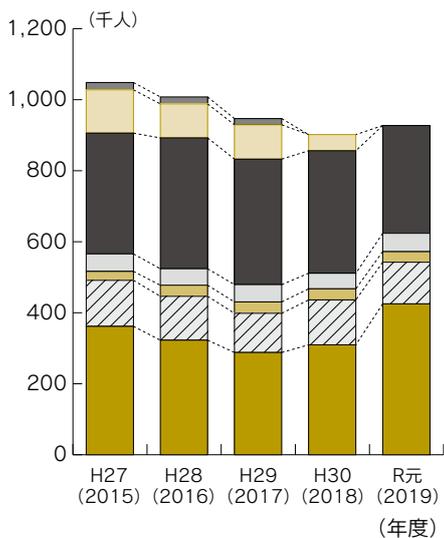
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

統計 = 推移と分析 = Statistics

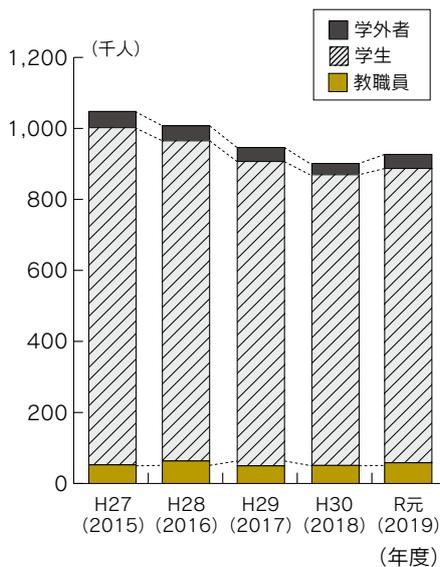
■ 利用サービスの推移



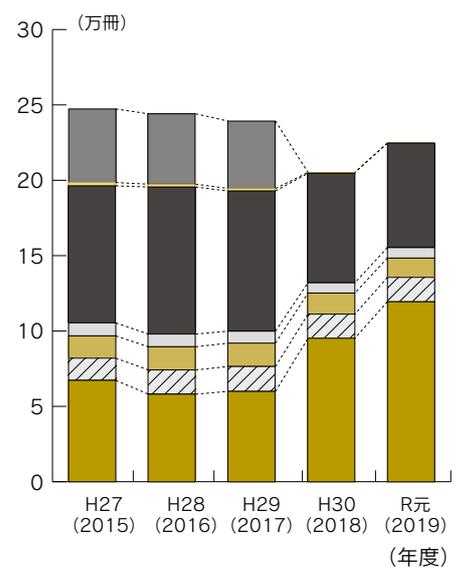
入館者数



身分別入館者数



貸出冊数

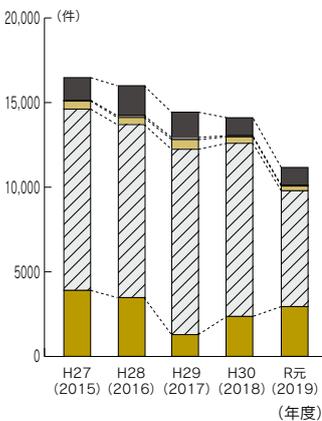


入館者数・貸出冊数ともに、平成30年度はキャンパス移転に伴う文系合同図書室、嚶鳴天空広場Q-Commons、旧中央図書館の閉館・閉室の影響で減少傾向にありましたが、令和元年度は移転前の水準に戻りつつあります。

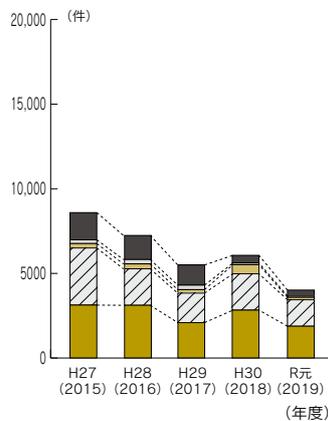
入館者数については、全体で前年度比約3%の増加となりました。中央図書館で約37%増加、理系図書館で約12%減少となりましたが、両館の入館者数を前年度の伊都地区の入館者数（中央図書館・理系図書館・嚶鳴天空広場）と比較すると約4%の増加となり、所属部局や学生の年次による中央図書館・理系図書館の使い分けが進んでいるものと考えられます。また、筑紫図書館では約18%の増加となりました。

貸出冊数は、全体では前年度比約10%増となっており、中央図書館での貸出冊数が著しく増加しています。移転が完了し、資料の利便性が高まったことが要因であると考えられます。

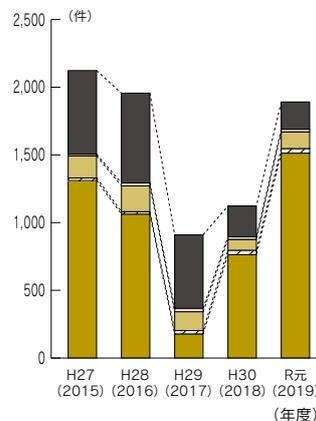
文献複写件数【受付】



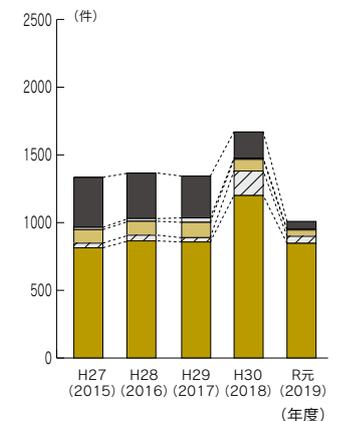
文献複写件数【依頼】



相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】



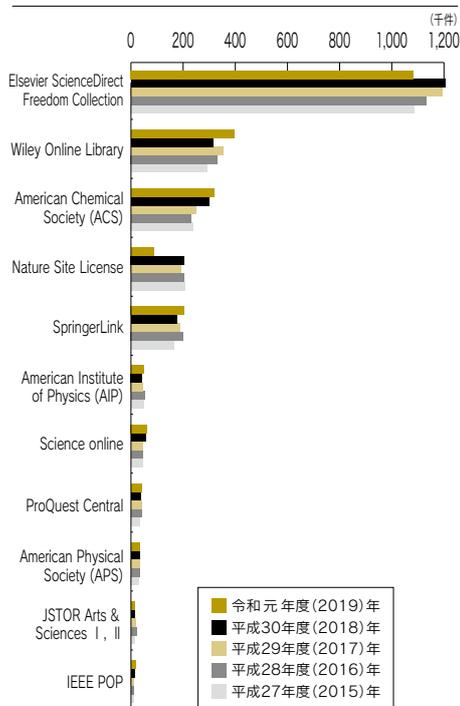
受付（学外機関／学内利用者・個人への文献コピーの提供）、依頼（学外機関からの文献コピーの取寄せ）ともに、直近5年で減少傾向にありますが、令和元年度も受付は1万件を超えており、学術文献提供の面で全国的に大きく貢献し続けています。

受付（学外機関への図書の貸出）は、キャンパス移転に伴う資料移動の影響で、平成29年度には大幅に減少していましたが、平成30年9月に移転が完了し、令和元年度には平成28年度の水準近くまで戻っています。一方で、依頼（学外機関からの図書の借受）について、令和元年度は1,000件程度の比較的小さい件数に収まっています。

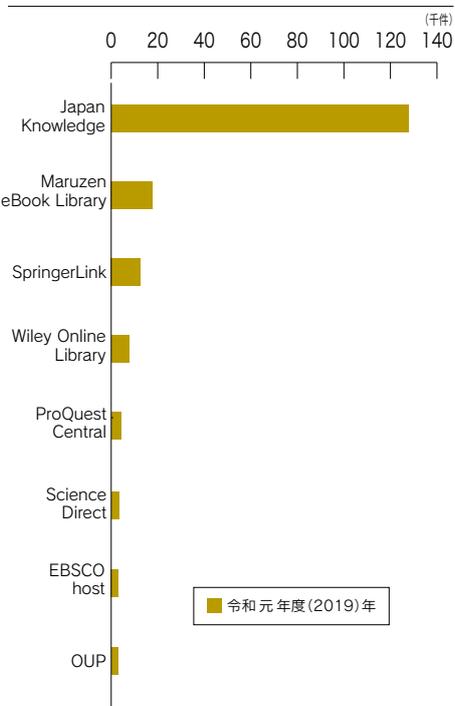


電子ジャーナル・電子ブック・情報検索サービスの利用の推移

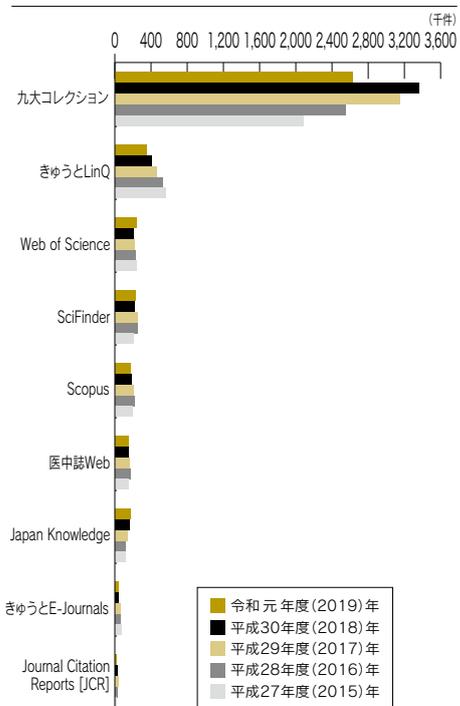
電子ジャーナルの利用 主要パッケージの利用件数 (千件)



電子ブックの利用 主要プラットフォームの利用件数 (千件)



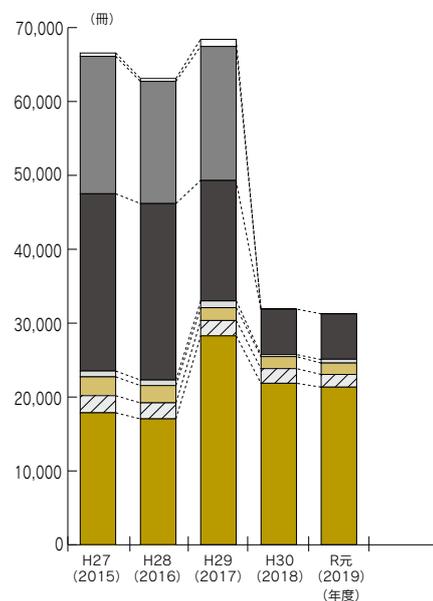
情報検索サービスの利用 主要データベースの検索回数 (千件)



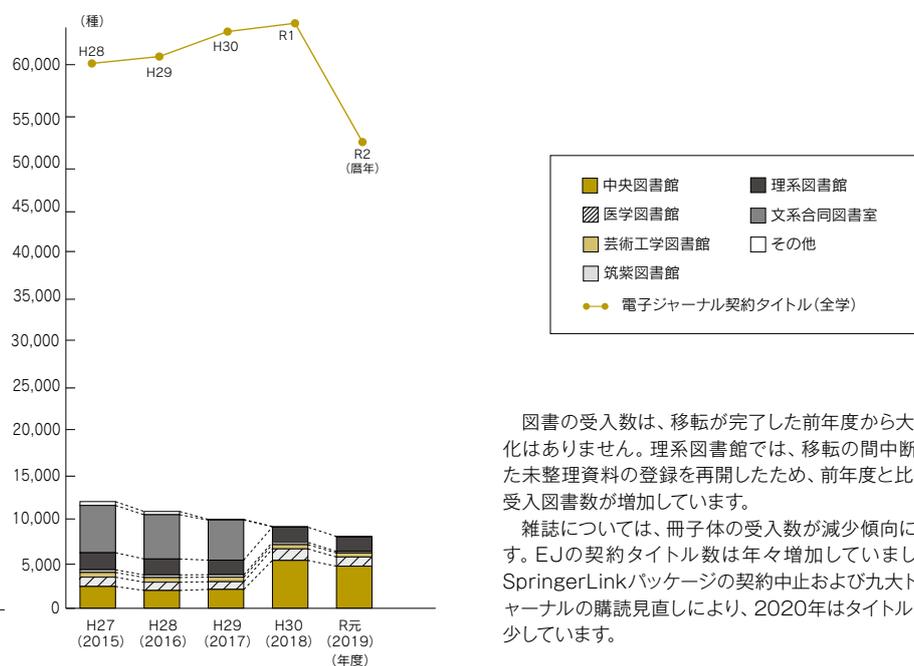
電子ジャーナルと情報検索サービスは従来より安定して利用され続けています。また電子ブックについても授業関連図書を中心に積極的に導入が進んでおり、今後利用が増えていくことが予想されています。

資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数

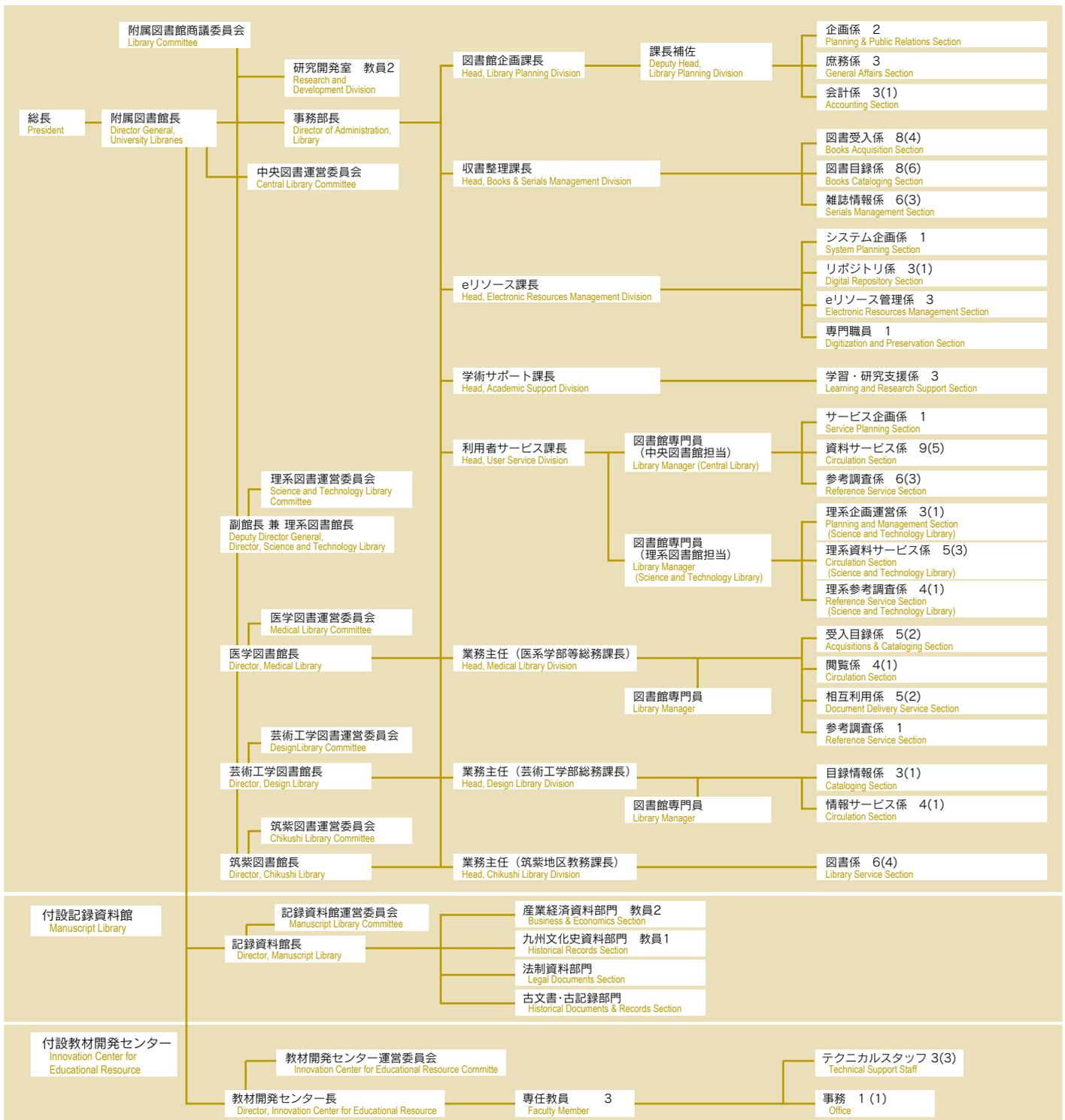


図書の受入数は、移転が完了した前年度から大きな変化はありません。理系図書館では、移転の間中断していた未整理資料の登録を再開したため、前年度と比べ寄贈受入図書数が増加しています。

雑誌については、冊子体の受入数が減少傾向にあります。EJの契約タイトル数は年々増加していましたが、SpringerLinkパッケージの契約中止および九大トップジャーナルの購読見直しにより、2020年はタイトル数が減少しています。

附属図書館の組織 Organization

(令和2年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計
教員数	2	4	0	3	9

※ 専任教員のみ。

区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
職員数	1	5	1	4	24	81(44)	116

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。()内は非常勤職員で内数。



附属図書館長・副館長・分館長等

令和2年4月1日現在

附属図書館長	宮本 一夫(副学長・人文科学研究院 教授)	記録資料館長	坂上 康俊(人文科学研究院 教授)
副館長・理系図書館長	富浦 洋一(システム情報科学研究院 教授)	教材開発センター長	岡田 義広(教材開発センター 教授)
医学図書館長	笹栗 俊之(医学研究院 教授)	事務部長	瓜生 照久
芸術工学図書館長	古賀 徹(芸術工学研究院 教授)		
筑紫図書館長	羽田 亨(総合理工学研究院 教授)		

附属図書館商議委員会

令和2年4月1日現在

■委員長

宮本 一夫(副学長・附属図書館長)

■委員

富浦 洋一(副館長・理系図書館長)

笹栗 俊之(医学図書館長)

古賀 徹(芸術工学図書館長)

羽田 亨(筑紫図書館長)

坂上 康俊(記録資料館長)

岡田 義広(教材開発センター長)

小野 謙二(情報基盤研究開発センター長)

渡邊公一郎(留学生センター長)

高山 倫明(人文科学研究院 教授)

山下 潤(比較社会文化研究院 教授)

堀 賀貴(人間環境学研究院 教授)

遠藤 歩(法学研究院 教授)

深川 博史(経済学研究院 教授)

江口 巧(言語文化研究院 教授)

中西 秀(理学研究院 教授)

石井 豊(数理学研究院 教授)

岩城 徹(医学研究院 教授)

柏崎 晴彦(歯学研究院 教授)

片山 勉(薬学研究院 教授)

守田 幸路(工学研究院 教授)

井上 滋樹(芸術工学研究院 教授)

伊良皆啓治(システム情報科学研究院 教授)

杉原 裕司(総合理工学研究院 教授)

磯田 宏(農学研究院 教授)

野口 高明(基幹教育院 教授)

馬場 健史(生体防御医学研究所 教授)

吉田 茂雄(応用力学研究所 教授)

佐藤 治(先導物質化学研究所 教授)

河原 吉伸(マス・フォア・インダストリ研究所 教授)

瓜生 照久(附属図書館事務部長)

所属する図書館関係団体と九州大学の役割

附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館)
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館)
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館)
福岡県図書館協会 理事・館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)
福岡県・佐賀県大学図書館協議会 理事館(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

医学図書館

日本医学図書館協会 (全国の医学系大学図書館および病院図書館・図書室)
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系大学図書館)

外部委員会での職員の役割

令和元年度

- 堀 優子(eリソース課長)
国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会委員
- 渡邊 由紀子(学術サポート課長・准教授)
日本図書館協会・図書館情報学教育部会幹事
福岡県/福岡県自治振興組合・福岡共同公文書館運営専門協議会委員
福岡市・福岡市総合図書館運営審議会委員
熊本大学附属図書館外部評価委員会委員
- 羽賀 真記子(収書整理課図書受入係長)
国立情報学研究所・「目録システム書誌作成研修」企画ワーキンググループメンバー
- 原賀 可奈子(eリソース課eリソース管理係長)
大学図書館コンソーシアム連合・作業部会委員(交渉)
西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」協力員
- 小柳 真弓(eリソース課eリソース管理係員)
大学図書館コンソーシアム連合・作業部会委員(調査)
- 泉 愛(eリソース課リポジトリ係員)
オープンアクセスリポジトリ推進協会・作業部会委員

人事異動 Personnel Reshuffle

(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

■学外へ転出

4/1	齋藤 未夏 (東京海洋大学)	利用者サービス課長
〃	林 豊 (国立情報学研究所)	e)システム企画係長

■中央図書館・理系図書館

4/1	瓜生 照久	事務部長	図書館企画課長
〃	次良丸 章	図書館企画課長	大阪大学
〃	福井 啓介	利用者サービス課長	筑波大学
〃	吉田 武志 (総務部同窓生・基金課基金係長)	企)会計係長	企)会計係長
〃	山根 利彦	企)会計係長	病院事務部医療管理課 医療法規係長
〃	大村 武史	e)システム企画係長	企)企画係
〃	原賀可奈子	e)e)リソース管理係長	e)e)リソース管理係
〃	野原ゆかり	利)サービス企画係長	利)理系参考調査係長
〃	沖 政広	利)理系参考調査係長	e)e)リソース管理係長
〃	梶原 瑠衣	企)企画係	企)庶務係
〃	篠田 繁寿	取)図書目録係	医)受入目録係
〃	北島 光朗	取)図書目録係	情報システム部情報基盤課 デジタルライブラリ担当
〃	岩下 夏帆	利)資料サービス係	芸)目録情報係
〃	金子 美弥	利)理系企画運営係	利)資料サービス係
〃	古川 琢磨	利)理系資料サービス係	利)理系企画運営係
〃	田上 明音	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
〃	長野 玲奈	取)図書受入係事務補佐員	利)理系企画運営係事務補佐員
〃	箱田 愛	取)図書目録係事務補佐員	利)資料サービス係事務補佐員
〃	天野 美保	取)雑誌情報係事務補佐員	取)図書目録係事務補佐員
〃	長野 心み	利)理系企画運営係事務補佐員	取)図書目録係事務補佐員
〃	吉田 陽子	利)理系資料サービス係事務補佐員	利)資料サービス係事務補佐員
6/1	大熊由希子	e)e)リソース課事務補佐員	(採用)
〃	今村 麻琴	e)e)リソース課事務補佐員	(採用)
6/30	松石麻紀子	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
7/1	野口 秀子	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
7/16	芥川 利恵	研究開発室テクニカルスタッフ	(採用)
7/31	波野 史子	(退職)	取)雑誌情報係事務補佐員
8/1	佐々木睦美	企)庶務係	情報システム部情報基盤課 情報管理室
8/31	下尾 香織	(退職)	取)図書目録係事務補佐員
9/12	大田 海 (自己啓発等休業)		取)雑誌情報係
10/1	齋藤友利子	取)雑誌情報係	利)理系参考調査係
〃	木下 博貴	利)理系参考調査係	総務部総務課(大学文書館)
〃	宮崎 祐汰	e)e)リソース管理係	(採用)
〃	尾形 裕子	取)図書目録係事務補佐員	(採用)
10/31	箱田 愛	(退職)	取)図書目録係事務補佐員
11/1	岡留 綾子	取)図書目録係事務補佐員	(採用)
3/1	DUGNE HENNEQUIN QUENTIN ARNAUD	研究開発室テクニカルスタッフ	(採用)

3/31	河鍋 浩明 (定年退職)	企)庶務係長
〃	末續 直子 (定年退職)	企)庶務係主任
〃	高原 秀典 (退職)	取)図書受入係(特定有期事務職員)
〃	兒玉 千春 (退職)	取)図書受入係事務補佐員

■医学図書館

4/1	笹栗 俊之	医学図書館長	
〃	小田 正俊	業務主任	工学部等総務課長
〃	渡邊真由美	受入目録係長	閲覧係長
〃	平野かおる	受入目録係	利)理系資料サービス係
〃	宮尾由美子	閲覧係長	利)サービス企画係長
〃	岩崎 崇宏	閲覧係	利)参考調査係
5/15	福島 由佳 (退職)		閲覧係事務補佐員
5/16	服部麻衣子	閲覧係事務補佐員	(採用)

■芸術工学図書館

4/1	古賀 徹	芸術工学図書館長	
〃	杉本 和仁	業務主任	医系学部等学務課長
〃	渡邊 俊彦	図書館専門員(特定有期事務職員)	(採用)
〃	稲永 晶子	目録情報係	企)企画係

■筑紫図書館

4/1	太田 康治	業務主任	国際部留学生課長
3/31	青木 俊之	任期満了	筑紫図書館長

■記録資料館 産業経済資料部門

3/31	古賀 康士 (退職)	助教
------	------------	----

■教材開発センター

10/1	竹原憲一郎	教材開発センター テクニカルスタッフ	(採用)
10/31	森 淳也 (退職)		教材開発センター テクニカルスタッフ
11/1	木佐貫浩司	教材開発センター テクニカルスタッフ	(採用)

■情報システム部情報基盤課

4/1	竹内嘉与子	情報基盤課 デジタルライブラリ担当	取)図書目録係
-----	-------	----------------------	---------

中央図書館・理系図書館	医)医学図書館
企)図書館企画課	芸)芸術工学図書館
取)収書整理課	筑)筑紫図書館
e)e)リソース課	
学)学術サポート課	
利)利用者サービス課	

出版物

●附属図書館発行

『九州大学附属図書館年報2018/2019』(2019.6)
『九州大学附属図書館研究開発室年報2018/2019』(2019.7)
『知をつむぐ 九州大学の書物たち』(2019.11)

●付設記録資料館発行

『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター Vol. 14』(2020.3)

●付設記録資料館産業経済資料部門発行

『石炭研究資料叢書 No.41』(2020.3) 『エネルギー史研究 No.35』(2020.3)

●付設記録資料館九州文化史資料部門発行

『九州文化史研究所紀要』63号(2020.3)

●付設教材開発センター発行

『九州大学附属図書館付設教材開発センターニューズレター』
No.38(2019.4), No.39(2019.6), No.40(2019.8), No.41(2019.10),
No.42(2019.12), No.43(2020.2)

貴重書等の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
杉山家資料	記録資料館(経済産業)	企画展「民ヲ親ニス 杉山家四代の軌跡」(R1.2.2~5.30)	筑前町立大刀洗平和記念館
広開土王碑 拓本	中央図書館	文化交流展示「海の道、アジアの路」 (R1.7.9~9.1, 9.10~10.20)	九州国立博物館
『吾妻鏡』伏見版(樋口文庫) 『太平記』平仮名絵入本(廣瀬文庫)	中央図書館	「日本遺産認定記念 菊池川二千年の歴史」(R1.7.19~9.1)	熊本県立美術館
『日本一鑑』(法制資料)	記録資料館(法制史)	特別展「来豊者 一彼らが見たおおいとー」(R1.9.27~11.10)	大分県立歴史博物館
『自省録』(ハルト文庫) 『エミール』 ロマン・ロラン署名本「愛と死の戯れ」(成瀬文庫)	中央図書館	「欧米古書稀観書展」(R1.12.6~12.8)	アクロス福岡2階特設展示場
『黒田一成公略伝』(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	開館記念特別展「時を拓く、時代を創る 一時の開拓者たち」 (R2.1.18~3.1)	中津市歴史博物館
『蒙古襲来絵詞(模本)』	中央図書館	企画展「カラコルム建都800年 モンゴル展」(R2.1.24~3.8)	大分県立歴史博物館
『島原合戦記』(古賀文庫)	記録資料館(九州文化史)	南島原市・西南学院大学博物館連携特別展「碑に刻む 一供養される靈魂たち」(R2.2.6~3.1)	南島原市口之津図書館

貴重書等の出版物への掲載・TV等での放映(一部)

●出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
『従二位黒田長濤公伝』(江島文庫)	中央図書館	「福岡藩最後の藩主黒田長濤公(14)」(『回天の道』73号、2019.7)
演文庫戯単	中央図書館	『戯單、劇場與二十世紀上半葉的東亞演劇學術研討會論文集』(九州大學言語文化研究院、2019.8) ほか
『宮城野聚勝園記』(雅俗文庫)	中央図書館	「南山古梁文・谷文晁画『宮城野聚勝園記』をめぐる一考察」(『美術史』第187冊、2019.10)
『詞花懸露集』(細川文庫)	中央図書館	「『詞花懸露集』諸本における本文の性格」(『和漢語文研究』第17号、2019.11)
『相見香雨自筆調査録』(相見文庫)	中央図書館(文)	「かざりと装飾 -日本美術からのアプローチ-」(『美術フォーラム21』第40号、2019.11)
『読我書楼長曆』(吉村文庫)	中央図書館(文)	「『読我書楼長曆』翻刻(一)」(『活水日文』161号、2020.2刊行予定) ほか
『読我書楼』文章(吉村文庫)	中央図書館(文)	「『読我書楼』文章 翻刻(一)」(『中国哲学論集』第45号、2020.3刊行予定)
草野文書	中央図書館(文)	「在府期足利直冬政権の機構と支持勢力」(『七隈史学』21号、2020.3刊行予定)
『外科正宗』(貴重古医書コレクション)	医学図書館	『医聖華岡青洲の偉業』(華岡青洲文献保存会、2019.9)
『安藤直次・成瀬正成連署条書写』(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	「付家老のお仕事 一尾張藩をささえた成瀬と竹腰」図録(城とまちミュージアム、2019.10.17-2019.11.19)
『諸用日記録』(楡垣文庫)	記録資料館(九州文化史)	「資料紹介 諸用日記録(1)」(『市史研究ふくおか』第15号、2020.3.25刊行予定)
『御用留』(楡垣文庫) 『御用帳』(楡垣文庫) 『柳河御貸付一件扣写』(石本家文書) 『寛』(石本家文書) 『八代記』(富士谷文書)	記録資料館(九州文化史)	『みやま市史 通史編 下巻』(みやま市、2020.3.31刊行予定)

●TV等での放映

資料名	所蔵館	放送番組
『筆のすさみ』	中央図書館	「もち浜S特報ライブ」(テレビ西日本 2019.5.3)
『熊本地区水害写真』(昭和28年西日本大水害資料)	中央図書館	「夕方LIVE ゲツキン!」(熊本放送 2019.6.26)
『ペリー提督日本遠征記』ほか	中央図書館ほか	「長崎人」(NHK長崎 2019.7.12ほか)
ケンペル「廻国奇観」ほか(桑木文庫)	中央図書館	「につぼん!歴史鑑」(BS-TBS 2019.11.11)
『福島正則書状』(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	「英雄たちの選択」(NHK BSプレミアム 2019.7.1再放送)

図書館日誌 Diary

	全学・中央図書館	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	理系図書館
R 1 (2019) 4	15 第1回研究データ管理基盤検討タスクフォース		25 第1回サイエンス・プラント		
5	9 開学記念行事附属図書館所蔵資料展示（～15日） 14 第2回中央図書館運営委員会	30 第90回日本医学図書館協会総会	25 「第8回九州大学芸術工学部施設公開！ デザインのフシギ体験」図書館開放 28 第2回サイエンス・プラント	18 オープンキャンパス「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩－昔も今も学術交流の拠点－」展示 23 第1回筑紫図書館運営委員会	
6	6 第2回研究データ管理基盤検討タスクフォース 11 カビに関する講義とクリーニング実習	5 外国雑誌センター館会議（メール会議） 6 第1回医学図書館運営委員会（書面回議）	26 第3回サイエンス・プラント		
7	26 第3回研究データ管理基盤検討タスクフォース 30 第1回中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議	23 第2回医学図書館運営委員会	16 第1回芸術工学図書館運営委員会 25 第4回サイエンス・プラント	17 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会	5 第1回理系図書館運営委員会（書面回議） 30 第1回中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議
8	3 九州地区国立大学法人等職員採用事務系（図書業務）二次採用試験 3 オープンキャンパス図書館開放「探検！九大図書館」 9 中央図書館運営委員会（書面回議） 19 第4回研究データ管理基盤検討タスクフォース 20 第1回中央図書館図書資料選定委員会	5 オープンキャンパス図書館開放	4 オープンキャンパス図書館開放		4 オープンキャンパス図書館開放「探検！九大図書館」 27 第2回理系図書館運営委員会（書面回議）
9	2 九大インターンシップ受入（～13日） 12・13 第8回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー 20 比較社会文化研究院・地球社会統合学府FDでのジャーナル問題を含むオープンアクセス説明会	19 第3回医学図書館運営委員会（書面回議）			
10	17 システム情報FDでのジャーナル問題を含むオープンアクセス説明会 19 アカデミックフェスティバル中央図書館見学ツアー 21 中央図書館運営委員会（書面回議） 31 第5回研究データ管理基盤検討タスクフォース	25 第67回九州地区医学図書館協議会総会 日本医学図書館協会九州・沖縄地区会総会	21 第11回デザイン基礎学セミナー「デザイン図書館というデザイン」 25 第5回サイエンス・プラント		17 Campus France Tour 2019 特別講演会 21 第1回理系図書館学生用図書選定委員会（書面回議）
11		29 第27回九州地区医学図書館員セミナー	25 第6回サイエンス・プラント		26 第3回理系図書館運営委員会（書面回議）
12	5 中村哲特別主幹教授 関係書籍展示（～27日） 5-6 九州大学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻・附属図書館共同開催イベント シンポジウム・ワークショップ「大学における研究データサービス」 9 九州大学附属図書館・統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻共同開催セミナー「研究インパクト指標」 12-13 令和元年度国立大学図書館協会地区協会助成事業「九州地区西洋古典資料保存講習会・実習」 17 第6回研究データ管理基盤検討タスクフォース	5 中村哲特別主幹教授 関係書籍展示（～26日） 9 第4回医学図書館運営委員会（書面回議）	20 第7回サイエンス・プラント		5 中村哲特別主幹教授 関係書籍展示（～26日）
R 2 (2020) 1	17 第1回ジャーナル検討タスクフォース 23 第7回研究データ管理基盤検討タスクフォース 24 シンポジウム「情報ガバナンスと文理融合教育の課題」		23 第2回芸術工学図書館運営委員会（書面回議） 24 第8回サイエンス・プラント		
2	24 農学研究院FDでのジャーナル問題を含むオープンアクセス説明会			10 第2回筑紫図書館運営委員会	5 第4回理系図書館運営委員会（書面回議）
3	10 中央図書館運営委員会（書面回議） 12 第2回ジャーナル検討タスクフォース 13 第2回中央図書館図書資料選定委員会（書面回議）	2 第5回医学図書館運営委員会			



記録資料館	教材開発センター	全学会議	関係団体会議等への出席
		24 教育企画委員会 26 教育改革推進本部運営会議・合同部門会議	18 第49回九州地区国立大学図書館協会総会（小倉リーセントホテル） 19 第70回九州地区大学図書館協議会総会（小倉リーセントホテル）
	13 FD 電子教材著作権講習会（伊都キャンパス、馬出キャンパス） 31 第1回教材開発センター運営委員会	20 電子ジャーナル等検討専門委員会 24 教育改革推進本部運営会議 28 第228回附属図書館商議委員会	15 国立大学図書館協会春季理事会（東京大学） 23 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会（産業医科大学）
		25 附属図書館商議委員会（書面回議）	20・21 国立大学図書館協会総会（ホテルグランヴィア岡山）
	25 JMOOC 講座「豪雨災害とその対策ー平成29年7月九州北部豪雨災害を例にー」（～8/22）	2 附属図書館商議委員会（書面回議） 12 教育改革推進本部運営会議 30 館長会議 30 第229回附属図書館商議委員会	
8 第39回記録資料館運営委員会			
	25 M2B講習会（馬出キャンパス）＜主催：基幹教育院＞ 26 M2B講習会（筑紫キャンパス、大橋キャンパス）＜主催：基幹教育院＞ 27 M2B講習会（伊都キャンパス）＜主催：基幹教育院＞ 30 M2B講習会（伊都キャンパス）＜主催：基幹教育院＞	6 教育改革推進本部運営会議	26・27 国立大学図書館協会九州地区協会助成事業「令和元年九州地区目録講習会」（鹿児島大学）
			25 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議（九州工業大学） 15 2019（令和元）年度福岡地区研究会（福岡教育大学）
		11 教育改革推進本部運営会議（書面回議）	8 国立大学図書館協会秋季理事会（広島大学） 8 国立七大学附属図書館協議会（広島大学） 29 九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議（九州大学）
	26 FD 電子教材著作権講習会（伊都キャンパス、馬出キャンパス） 26 FD 電子教材開発者向け講習会（伊都キャンパス）	4 附属図書館商議委員会（書面回議） 6 教育改革推進本部運営会議	
10 第40回記録資料館運営委員会		10 教育改革推進本部運営会議（書面回議）・合同部門会議	
	7 第2回教材開発センター運営委員会（書面回議）	7 教育改革推進本部運営会議（書面回議）	
6 記録資料館運営委員会（書面回議） 13 記録資料館運営委員会（書面回議）		6 教育改革推進本部運営会議（書面回議） 10 附属図書館商議委員会（書面回議） 17 附属図書館商議委員会（書面回議）	

令和2(2020)年7月発行

編集発行 九州大学附属図書館
〒819-0395 福岡市西区元岡744
TEL(092)802-2471 (図書館企画課企画係)

製 作 城島印刷株式会社

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp>



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



九州大学附属図書館
Kyushu University Library